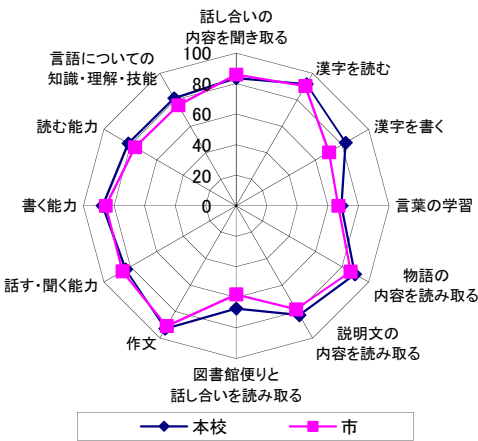


宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	83.5	85.9
	漢字を読む	92.0	90.4
	漢字を書く	82.7	70.1
	言葉の学習	68.9	66.9
	物語の内容を読み取る	89.7	86.5
	説明文の内容を読み取る	82.7	78.4
	図書館便りと話し合いを読み取る	67.3	58.1
	作文	92.9	91.0
観点別	話す・聞く能力	83.5	85.9
	書く能力	87.5	85.4
	読む能力	81.6	76.6
	言語についての知識・理解・技能	81.3	76.0



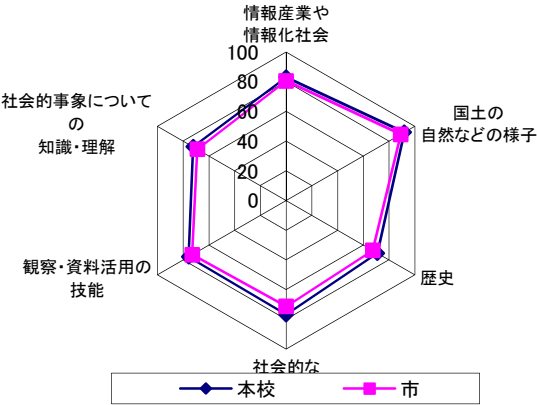
★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る (83.5%)	市の平均正答率をやや下回る状況である。話しの意図を考えながら話の内容を聞く設問はよくできている。話し方の工夫を選ぶ設問の正答率がやや低い。立場を決めて自分の意見を述べる設問も正答率がやや低い。	話を聞く観点を明確化して大事なことを聞き漏らさないよう、メモを取る活動を授業に取り入れる。
漢字 (92.0%)	市の平均正答率を上回った。漢字の読みでは「快く」、漢字の書きでは「判断」「技術」の正答率が低い状況である。それ以外の設問では正答率が高く、定着している。	ドリルやプリントを活用して、既習漢字の復習をさせる。既習の漢字を日常生活でも正しく書くことを習慣化し定着を図っていく。
言葉の学習 (68.9%)	市の平均正答率を上回った。正しい尊敬語の使い方を選ぶ設問と、謙譲語を記述する設問の正答率が低い状況である。	時や場、相手に合わせた話し方を意識させることで、尊敬語・謙譲語の使い方を定着させる。
物語の内容を読み取る (89.7%)	市の平均正答率を上回った。どの設問でも正答率が高い。	日常の読書活動をさらに奨励し、物語の面白さを味わわせていくようにする。
説明文の内容を読み取る	市の平均正答率を上回っている。話の内容に合う具体例を選ぶ設問での正答率がやや低い。文と文のつながりを考え、内容を的確に押さえながら読み取る設問の正答率が高い。	文書の内容を読み取り、ほかの例に当てはめて考えることができるように、日常的な得諸活動の中で、説明的文章にも触れるよう促す。
図書館便りと話し合いを読み取る	市の平均正答率を上回っている。資料を正しく読み取る設問は正答率が高い。資料の内容を適切にまとめる設問の正答率が低い。	筆者の考えや意見をまとめる活動を学習に取り入れ、文書を要約する機会を設けて指導する。
作文	市の平均正答率を上回っている。決められた長さや構成を守り、自分の意見と理由を区別して書くことがよくできている。	作文を書く活動では、基本的な書き方を確認し、形式に合わせて書く練習を行う。

宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	情報産業や情報化社会	82.9	80.5
	国土の自然などの様子	91.8	89.0
	歴史	70.8	67.2
観点別	社会的な思考・判断・表現	76.8	71.3
	観察・資料活用 of 技能	75.8	73.1
	社会的事象についての知識・理解	72.3	69.0



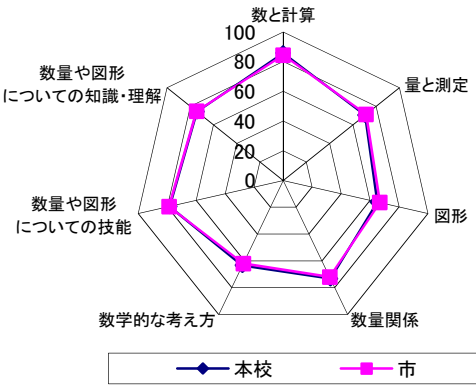
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
情報産業や情報化社会	市の平均正答率を上回った。どの設問も高い正答率だった。	日常生活の中で、新聞・テレビ・インターネットを利用する際のメリット・デメリットを確認し意識化を図る。
国土の自然などの様子	市の平均正答率を上回った。自然環境に関する設問の正答率が高く、理解が深い。	現在の環境問題などに興味をもつきっかけになるよう、積極的に話題を提示する。
歴史	市の平均正答率を上回った。基本的な知識を問う問題は正答率が高いが、資料同士の関連を問われるような活用問題の正答率が低い。	資料集などを活用し、多くの関連資料を目にする機会を確保する。

宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	85.7	84.3
	量と測定	70.5	71.3
	図形	65.0	66.7
	数量関係	73.3	72.1
観点別	数学的な考え方	63.4	62.0
	数量や図形についての技能	78.4	78.8
	数量や図形についての知識・理解	74.2	74.6



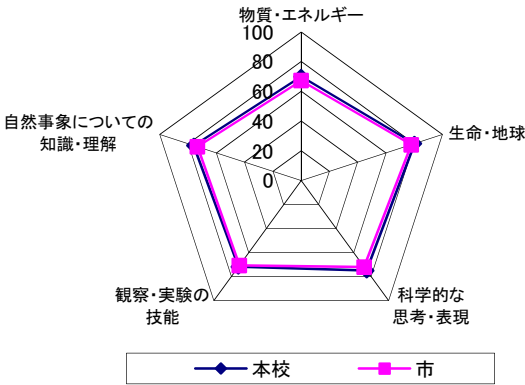
★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	市の平均正答率を上回っている。分数の計算の設問は正答率が高い。文章題の正しい式を選択する設問の正答率が低い。	ドリルやプリントを活用して、文章題に取り組む機会を増やす。
量と測定	市の平均正答率を下回っている。面積や体積を求める公式は定着している。速さでの設問で、道のりを求めたり時速を分速に直す設問の正答率が低い。	速さの意味や求め方が十分理解できるよう、イメージしやすい事柄を取り上げて指導していく。
図形	市の平均正答率を下回った。円や円柱に関連して円周を求める設問の正答率が低い。	ドリルやプリントを活用して、円や円柱に関連して円周を求める問題に取り組む機会を増やす。
数量関係	市の平均正答率を上回った。比の値を求めたり、文字を使った式に表したりする設問の正答率は高く、定着している。比例・反比例、割合の設問は正答率が低い。	身近な事柄について、2つの数の変化を自分で調べて表にしたり、2つの数の関係を式に表したりすることにより、「比例」「反比例」「割合」についてきちんと理解できるようにしていく。

宇都宮市立宮の原小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	70.0	67.2
	生命・地球	80.2	77.9
観点別	科学的な思考・表現	75.0	72.0
	観察・実験の技能	71.8	70.7
	自然事象についての知識・理解	76.1	73.4



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	市の平均正答率を上回った。基本的な知識を問う問題は正答率が高い。水溶液の性質とはたらきに関する設問の正答率が低い。	リトマス紙の性質について確認する。プリントなどを活用して資料を読み取り思考する力をつけさせる。
生命・地球	市の平均正答率を上回った。「植物の体のつくり」や「月や太陽」に関する設問は正答率が高い。人の体に関する設問は正答率が低い。	実験や観察のできない学習内容については、模型や映像資料を使って視覚に訴え、イメージしやすくする。